

成分名	塩酸アルキルジアミノエチルグリシン液
英 名	Alkyldiaminoethylglycine Hydrochloride Solution
CAS No.	
収載公定書	外原規

投与経路	用途
一般外用剤	乳化剤
眼科用剤	

以下については該当文献なし

1. 単回投与毒性
2. 反復投与毒性
3. 遺伝毒性
4. 癌原性
5. 生殖発生毒性

6. 局所刺激性

消毒製剤ポピドンヨードの皮膚刺激性を培養ヒト皮膚モデル(三次元皮膚モデル)を用い、臨床使用条件下で他の消毒製剤、塩酸ペンザルコニウム、塩酸ペンゼトニウム、クロルヘキシジングルコネート及び塩酸アルキルジアミノエチルグリシン製剤と比較した。その結果、ポピドンヨードは他の消毒製剤と比較して有意に弱刺激性を示した。このin vitroの結果は、以前ウサギ皮膚を用いたDraize皮膚刺激試験で得られた結果と相関を示した。¹⁾ (Nagasawa M. et al., 2002)

7. その他の毒性

該当文献なし

8. ヒトにおける知見

該当文献なし

引用文献

1) Nagasawa M, Hayashi H, Nakayoshi T. In vitro evaluation of skin sensitivity of povine-iodine and other antiseptics using a three-dimensional human skin model. Dermatology. 2002; 204 Suppl 1: 109-13.